

公立病院としての役割や機能と今後の課題について

1. 公立病院としての役割や求められる機能

- ① 犀川以南の南部地域の拠点病院として、一般急性期の医療や救急医療に対応
- ② DMAT チームを配備するなど、災害医療における災害拠点病院としての役割
- ③ 結核医療・感染症医療など、民間病院では対応できない政策医療を実施
- ④ 「地域連携室」の機能を強化し、「一般急性期から在宅復帰支援まで」に対応した「地域完結型病院」としての役割
 - ・ 介護施設等との連携を進め、在宅医療の支援を強化（地域共通カルテや遠隔モニタリングの導入）
 - ・ 入退院支援センターを設置するなど、かかりつけ医と訪問看護ステーションとの連携を強化
- ⑤ 先進医療・高度医療部門に医療資源を投資し、特長ある診療部門を強化
- ⑥ 金沢市の保健局・福祉局・保健所など行政部門との連携強化による、予防・医療・介護分野等における市民サービス向上への取り組み
- ⑦ 院内に専任の医師や助産師を配置した「(仮)母子支援センター」を設置し、保健所や保健部局と連携した子育て支援策を実施
- ⑧ 教育・研究システムの充実
 - ・ 研修医の指導・育成など、医療職の教育研修体制の構築、認定看護師や認定薬剤師などの上級資格取得の支援を強化
- ⑨ 健康増進講座の開催など、各種保健事業の展開により地域貢献を果たす
 - ・ 「ホスピタリティ・アート」の推進、「健康寿命延伸」講座の実践など「まちなかサロン」を充実

2. 再整備に向けての今後の検討課題

- ① 市民のための病院として、今後の目指すべき方向性やコンセプトを確立
- ② 病院経営と診療機能の強化を図るため、「病院事業管理者」と「病院長」の機能を分離するなど、管理運営体制の見直しを検討
- ③ 今後の急激な医療環境に迅速かつ柔軟に対応するため、「独立行政法人化」への移行など、病院経営形態の見直しを検討
- ④ 入院患者の減少や医療ニーズの変化に応じた病棟管理体制の見直し、病棟運営の効率化などによる経営改善の推進
- ⑤ 病院スタッフの「働き方改革」を推進し、効率化・生産性の向上を追求

(参考) 金沢市立病院の財政状況

〔貸借対照表〕

(単位：千円)

科目	29年度	28年度	増減	
			金額	比率(%)
資産	9,353,954	9,260,954	93,000	1.0
固定資産	5,247,241	5,198,155	49,086	0.9
流動資産	4,106,713	4,062,799	43,914	1.1
現金・預金	3,368,428	3,289,475	78,953	2.4
資産合計	9,353,954	9,260,954	93,000	1.0
負債	4,742,929	4,609,141	133,788	2.9
固定負債	3,076,279	3,062,452	13,827	0.5
企業債	1,489,132	1,534,241	△45,109	△2.9
退職給付引当金	1,587,147	1,528,211	58,936	3.9
流動負債	1,130,427	993,751	136,676	13.8
企業債	440,409	435,916	4,493	1.0
繰延資産	536,223	552,938	△16,715	△3.0
資本	4,611,025	4,651,813	△40,788	△0.9
負債資本合計	9,353,954	9,260,954	93,000	1.0

〔主な経営指標〕

- ・ **現金預金対借入金比率(%)** : 29年度：174.6 28年度：167.0

現金預金と借入金のバランスを判断する。企業債に対する支払能力を表す。

- ・ **流動比率(%)** : 29年度：363.3 28年度：408.8

流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払能力を表す。比率が100%以上であることが必要である。

- ・ **現金預金比率(%)** : 29年度：298.0 28年度：331.0

流動負債に対する現金預金の割合を示す。すぐに支払いが可能な現金・預金のみでの支払い能力を表す。